

●当院の臨床研修の特色

◆広大な県土を持つ岩手県唯一の大学病院である当院では、各専門診療科のバックアップ体制の下、より深くより広く思考する科学的姿勢を身につけることができる。指導医数・症例数も豊富で、研修医の身近に各分野のエキスパートが存在する。◆多くの専門医・認定医の研修施設認定を受けていること、社会人大学院制度を利用し最短で博士号を取得できることなど、大学病院の特殊性を活かし、専門医・認定医を視野に入れた研修が可能である。◆研修医の希望に沿ったオーダーメイド的なローテートが可能である。選択科目の研修期間を最大限の12か月設定し、希望により1月単位で自由に選択することができ、必修科目・必修選択科目に続けて研修することもできる。◆協力病院・協力施設は40あり、地域医療だけでなく選択必修科目、選択科目等多くの科目で院外研修が可能である。複数の研修先を選択することもできる。県内の基幹型病院との関わりも深く、他の基幹型病院で複数月の院外研修も可能。◆全国屈指の診療規模を誇る高度救命救急センター、循環器医療センター、総合周産期母子医療センターなどにおける高度先進医療を経験できる。◆研修医室は完全に独立しており、個人用の机を用意している。研修医室とは別に男女別の研修医用ロッカー室もあり、ロッカー室内には研修医専用のベッドがある。

■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム) 平成30年度開始プログラム変更予定あり

●プログラム名／プログラム責任者：岩手医科大学附属病院卒後臨床研修基本プログラム／谷田 達男
●研修スケジュール 募集人数17名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	基礎研修	内科		救急科			内科			選択必修科目		
		一次・二次救急										
2年次	地域医療	選択科目										
		一次・二次救急										

●プログラム名／プログラム責任者：岩手医科大学附属病院卒後臨床研修産婦人科・小児科・周産期プログラム／谷田 達男
●研修スケジュール 募集人数2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	基礎研修	内科					選択必修科目		救急科		選択必修科目	
		一次・二次救急										
2年次	地域医療	特別選択科目					選択科目					
		一次・二次救急										

●協力型病院名 (科目)

岩手医科大学附属花巻温泉病院 (内科/整形外科/外科)	岩手県立中央病院 (内科/救急部門/外科/麻酔科/小児科/産婦人科/選択科目)
岩手県立宮古病院 (内科/救急部門/外科/麻酔科/小児科/産婦人科/選択科目)	岩手県立二戸病院 (内科/救急部門/外科/麻酔科/小児科/産婦人科/選択科目)
岩手県立大船渡病院 (内科/救急部門/外科/麻酔科/小児科/産婦人科/精神科/選択科目)	岩手県立中部病院 (内科/救急部門/外科/麻酔科/小児科/産婦人科/選択科目)

他28施設

●協力施設

葛巻町国民健康保険葛巻病院	岩手県赤十字血液センター	みちのく療育園
もりおか往診クリニック	岩手県県央保健所	いわてリハビリテーションセンター

■教育体制

研修医の身近に各分野のエキスパートが数多く存在することが最大の教育的特色で、あらゆるコンサルテーションが院内でできる。CPC、研修医のための症例検討会、主要各科によるコアレクチャーにより基本的な診療能力の向上を図っている。医療安全、感染対策など様々な専門家による勉強会も数多く開催しており、カンファレンスも診療科毎にある。災害訓練用等の高機能シミュレータなど医学教育シミュレータを多数保有し、それらを利用したセミナーを実施する他、研修医室に練習用医療機器もあり、個人的な手技練習が可能である。また、災害時地域医療支援教育センター主催の特色あるセミナー等も開催されている。オリエンテーションは岩手県内の新研修医全員を対象にした岩手県主催と当院主催の2つを採用直後に実施する。

■メッセージ

●指導医から一言

「専門家が多く、最新の医学知識や技術に触れることができる」というのは、大学病院ならあたりまえ。では、岩手医科大学の臨床研修ならではの特徴は？というと、私は「大学病院も、市中病院も、どちらも経験できる」という部分だと思います。岩手県では、他の臨床研修病院と共同で相互派遣のしくみを運用していますが、岩手医科大学くらい病院の規模が大きいと、比較的自由に他の関連病院の研修に行くことができるのです。実際、希望をすると最大で12ヶ月も(!)関連市中病院による研修を行うことが可能です。更に、研修中にも随時変更が可能ですので、研修中の自分の興味に合わせて、ある程度自由に自分の研修をデザインすることが可能です。このような自由な臨床研修は、他の病院ではなかなか経験できない利点だと思います。

●先輩研修医から一言

私は東京の大学を卒業し、その後縁もゆかりもない岩手医大で研修をさせて頂きました。同期に恵まれ皆で仲良く頑張り、指導医の先生達にも大変可愛がって頂きました。岩手県内の他の研修病院でも最大12カ月間たすきがけ研修を行えます。私自身被災地の沿岸病院で研修させて頂きました。周囲に病院が少ないため本当に様々な症例をファーストタッチで経験しました。ローテート先は非常にフレキシブルに対応して頂きました。希望すればNYでの海外研修もできます！サボろうと思えばいくらでもサボれますが、やろうと思えばいるんなことができます。マイナスポイントは冬とてつもなく寒かったことです。しかし、岩手県の人は皆とても暖かい人が多いです。是非一度、旅行を兼ねて当院に来てみてください。おいしい日本酒でおもてなし致します！

■病院理念

【理念】
誠の精神に基づく、誠の医療の実践

【基本方針】
1. 患者様本位の安全な医療の実践
2. 高度で良質な医療の実践
3. 人間性豊かな優れた医療人の育成
4. 高度先進医療の開発と推進
5. 地域医療機関との連携
6. 地域医療への貢献

■診療内容

●診療の特徴、実績
県内唯一の特定機能病院として手術支援ロボットを導入するなど高度医療を提供する一方、岩手県高度救命救急センターの併設やドクターヘリの運行など地域の救急医療にも貢献しています。また、北日本唯一の循環器疾患専門施設の循環器医療センターや総合周産期母子医療センター、都道府県がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、岩手県認知症患者医療センター、エイズ医療中核拠点病院など様々な拠点病院として、地域医療の中核的役割を担っています。

●診療科・医師数

診療科名	消化管内科	肝臓内科	糖内	心臓・腎臓・内分泌科	循環器内	呼吸器内	血内	神内	外	脳外	心外	呼外	整形	形成	産婦	小児
医師数	13	15	13	10	26	17	11	22	33	18	10	5	20	12	25	26
指導医数	7	8	5	5	7	7	5	6	14	10	6	3	15	7	14	15

診療科名	耳鼻	眼	皮膚	泌尿	精神	放射	麻酔	救急	病理診断科	臨床検査科	睡眠医療科	緩和医療科	高次脳機能科	臨床遺伝科	合計
医師数	14	24	17	13	15	20	22	25	8	5	4	2	1	2	448
指導医数	9	6	10	9	7	9	12	18	6	4	4	2	0	0	230

●許可病床数：1,166床 (一般1,088床、精神78床)
●入院患者数(1日平均)：880.9人
●外来患者数(1日平均)：1557.7人
●平均在院日数(一般病床)：136日
●分娩件数：359件
●救急医療の提供実績：救急医療を担う高度救命救急センターは北東北の救急医療の拠点病院として重要な役割を果たしており専任の医師・看護師が24時間体制で対応している。H8年に北海道・東北地区で最初の認定を受け、H13年から精神科医の24時間常勤による精神救急医療、H24年から岩手県ドクターヘリ運航など、他の範となっている。

●医療法上の位置づけ：第3次医療機関
●救急取扱件数：23,422件
●救急車取扱件数：3,086件
●救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

●研修手当(実績等による目安)：【1年次】330,000円(月額、手当・税込)、3,960,000円(年額、賞与・手当・税込)
【2年次】359,700円(月額、手当・税込)、4,316,400円(年額、賞与・手当・税込)
●研修医に対する各種保険等の適用：日本私立学校振興共済事業団、労働者災害補償保険、雇用保険
●医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
●宿舍の有無：無し
●出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り(開園時間7:30~18:00、延長保育20:00まで。特別保育(要予約)あり。)

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

●募集予定人数：未定
●応募資格：平成30年3月卒業見込者又は既卒者で、第112回医師国家試験を受験しマッチングに参加予定の者
●応募必要書類：(1)履歴書 (2)臨床研修医申込書 (3)成績証明書(他大学出身者のみ)
●試験内容：(1)書類審査 (2)面接 (3)適性検査 (4)小論文
●申込締切日：未定(決定し次第ホームページに掲載)
●試験実施日：未定(決定し次第ホームページに掲載)

■現在の研修状況と進路

●研修中的人数：1年次6名 うち女性4名
2年次13名 うち女性2名
●研修医の主な出身大学：岩手医科大学、昭和大学
●当直回数：3回
●研修終了後の進路：岩手医科大学大学院
●後期研修プログラムの有無：有り(全診療科)

■申し込み、問い合わせ先

岩手医科大学附属病院
医師卒後臨床研修センター
020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1
TEL 019-625-2014 FAX 019-625-2014
E-mail resident@j.iwate-med.ac.jp

●当院の臨床研修の特色

研修初期に内科系又は外科系の13科から1科を選択し、基幹科として3ヵ月重点的に医師としての基本的な態度や技術を研修する。内科6ヶ月（オリエンテーション1ヵ月・ICU1ヵ月含む）、外科2ヵ月、麻酔科2ヵ月、救急2ヵ月1小児科1ヵ月、産婦人科1ヵ月、精神科1ヵ月、地域医療2ヵ月のスーパーローテート方式に近いが、比較的自由にローテートできるのが特徴である。プライマリ・ケア研修の充実のため、救急（当直）研修及び地域医療研修に力を入れている。

■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：岩手県立中央病院初期臨床研修プログラム502／高橋 弘明
- 研修スケジュール 募集人数19名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	救急(内科)	内科			麻酔科			ICU(内科)	小児科	選択科	外科	
2年次	救急		地域医療、地域病院		選択科		精神科、産婦人科	産婦人科				

●協力型病院名（科目）

岩手県立胆沢病院（内科、救急、外科、麻酔科、小児科、選択科目）	岩手県立磐井病院（内科、救急、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、選択科目）
岩手県立千厩病院（内科、救急、地域医療、外科、麻酔科、選択科目）	岩手県立大船渡病院（内科、救急、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、選択科目）
岩手県立釜石病院（内科、救急、外科、麻酔科、小児科、選択科目）	岩手県立宮古病院（内科、救急、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、選択科目）

岩手県立久慈病院ほか14施設

●協力施設

岩手県精神保健福祉センター 国民健康保険葛巻病院	宮古市国民健康保険田老診療所	岩手県赤十字血液センター
-----------------------------	----------------	--------------

■教育体制

当院では研修医を対象とした勉強会を多数開催しています。

- (1) プライマリ・ケアセミナー：毎月1・2回水曜18：00～（主にレジデントが講師となり行う勉強会）
- (2) 死亡症例検討会：毎週木曜日 8：00～（死亡した患者さまの症例について、院内医師が集まり検討する会（病理検討も含まれる）。研修医がプレゼンする機会が多い。）
- (3) CPC：2か月に1回程度（研修医が経験した剖検症例について発表・報告する会。発表後は、必ずレポートを作成し提出する。）
- (4) 救急症例検討会：毎月1.2回（研修医が当直（救急センター研修）時に経験した症例について検討する会。研修医がプレゼンする。）
- (5) 救急事例検討会：毎月第3火曜日18：00～（盛岡地区の救急隊員と救急事例について検討する会。研修医がプレゼンする。）
- (6) BLS講習会：毎月1回程度（研修医がインストラクターとなって行う講習会。受講者は看護師やその他コメディカル部門職員。）

■メッセージ

●指導医から一言

当院には多くの診療科が存在し、専門医もとても充実しています。しかし当院の初期臨床研修は、日常頻繁に遭遇する疾患の適切な初期診療ができること、チーム医療のリーダーとして活躍できる人材を育成することを研修理念に謳っています。多くの学会指導医も勤務しているので、高度先進医療や専門領域の経験を積むことも可能ですが、まず2年間、しっかり臨床の基礎固めをして幅広い診療分野の実力を蓄え、その後の専門研修につなげてほしいと考えています。また、多職種による医療チームでのリーダーシップは研修早期から経験し、知らず知らずのうちにリーダーとしての資質が育まれます。年間2万人を超える入院患者さん、6000台の救急車、そのほかの患者さんは皆さんの研修協力者です。一緒に勉強する仲間を募集しています。

●先輩研修医から一言

臨床研修必修化になる以前から臨床研修に力を入れており、新たに始まる研修制度に対する迷いが感じられなかった点や、研修医中心の救急診療などに魅力を感じ、私はこの病院にきめました。研修についての指導は各科で異なる点もありますが、いずれの科でも指導医によるバックアップがしっかりしているために学ぶことが多く、やる気さえあれば多くのことを自分の知識・力として吸収することができます。研修中の不安を感じる方もいると思いますが、当院では「里親（メンター）」という制度があり、父親・母親的存在の医師が様々な相談ののってくれます。相談することがあまりなくても、いざという時に頼れる人がいるというだけで安心して安心して研修できるのではないのでしょうか。研修システムが確立されている当院で、ともに充実した研修生活を送りましょう。

■病院理念

高度急性期医療を推進する県民に信頼される親切であたたかい病院

■診療内容

- 診療の特徴、実績
 - 急性期高機能センター病院として県全体を対象とした先進・高度・特殊医療機能と教育・研修機能、医療情報提供など県立病院の中心としての役割を担っています。
 - 医療に恵まれない地域の病院や診療所に対して診療応援による地域医療確保のための支援を行うとともに、がん化学療法科、セカンドオピニオン外来や女性外来など、時代のニーズに応じた専門外来を開設しています。
 - 当院医師全員がPHSを持ち、いつでも専門医による対応が可能であり、かかりつけ医・救急隊からもダイレクトに連絡ができます。

●診療科・医師数

診療科名	血液内科	総合診療科	腎臓内科	神経内科	精神科	呼吸器内科	消化器内科	循環器内科	小児科	消化器外科	乳腺・内分泌外科	整形外科	脳神経外科	心血管外科	呼吸器外科
医師数	4	7	9	6	1	5	11	11	6	13	5	5	4	5	3
指導医数	4	6	5	4	0	3	6	7	3	8	4	4	4	5	2

診療科名	小児外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	ペインクリニック科	麻酔科	ICU科	がん化学療法科	病理診断科	合計
医師数	1	2	5	6	2	2	7	1	15	2	2	4	144
指導医数	1	1	2	6	2	2	5	0	10	2	1	4	101

- 許可病床数：685床（一般685床）
- 入院患者数（1日平均）：573.5人
- 外来患者数（1日平均）：1,130.8人
- 平均在院日数（一般病床）：11.3日
- 分娩件数：517件
- 救急医療の提供実績：当直は、研修医3名に内科系・外科系・脳・心臓・ICU（輪番日は小児も）を加えた、8～9名の医師による屋根瓦方式の体制をとっています。当院では救急の最前線に立つのは1・2年次研修医であり、救急診療の実力を十分に身に付けることができるものと思います。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：22,099件
- 救急車取扱件数：6,261件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】631,596円（月額、手当・税込）、7,579,160円（年額、賞与・手当・税込）
【2年次】638,022円（月額、手当・税込）、7,656,272円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌医療保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り 24時間保育所を併設しています

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：19名
- 応募資格：平成29年度医師国家試験受験予定者及び医師国家試験合格者で、マッチングプログラムに参加する者
- 応募必要書類：(1) 初期研修申込書(所定様式)、(2) 研修医履歴書(所定様式)、(3) 成績証明書、(4) 卒業見込証明書
- 試験内容：(1) 適性試験、(2) 小論文、(3) 面接
- 申込締切日：平成27年7月～8月予定（当院ホームページ参照）
- 試験実施日：平成29年8月～9月予定（当院ホームページ参照）

■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 19名 うち女性 3名
2年次 18名 うち女性 6名
- 研修医の主な出身大学：岩手医科大学、秋田大学、東北大学、山形大学、筑波大学、福島県立医科大学、昭和大学、産業医科大学
- 当直回数：48回（週1回の当直（ただし小児科研修中及び翌月は免除。救急センター研修中は月1回の当直。地域医療及び精神科研修中は免除。））
- 研修終了後の進路：当院レジデント、岩手医科大学、東北大学病院、各市中病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（総合診療科ほか各診療科）

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立中央病院
業務企画室

020-0066 岩手県盛岡市上田1丁目4番1号
TEL 019-653-1151 FAX 019-653-4830
E-mail gyomu@chuo-ho.jp

●臨床研修理念

- 当院の研修プログラムは1年次が、オリエンテーション1ヶ月、内科6ヶ月、麻酔科1ヶ月、救急部門3ヶ月、小児科1ヶ月、2年次は地域医療、精神科、産婦人科を各1ヶ月とし、残り9ヶ月は自由選択となっている。
- 4月オリエンテーション終了後から、看護部・薬剤部・検査部・放射線部・栄養課で体験型実習であるコメディカル研修を行いチーム医療の重要性を学ぶ。
- 当院は年間約900件の出産があり、これによって周産期医療を研修する。
- 厚生労働省の到達目標を達成するだけでなく小児科、産婦人科、麻酔科、精神科も必修科としてローテートすることによって基本的な診療能力を身につける。

■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：盛岡赤十字病院卒後臨床研修プログラム／藤原 隆雄
- 研修スケジュール 募集人数8名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション	内科						麻酔科	救急部門			小児科
2年次	精神科	産婦人科	地域医療	自由選択								

●協力型病院名（科目）

医療法人仁医会（財団）都南病院（精神科）	社会医療法人 智徳会 未来の風せいわ病院（精神科）
医療法人友愛会 盛岡友愛病院（地域医療）	岩手医科大学附属病院（内科系、救急、選択必修、自由選択）
岩手県立中央病院（内科系、救急、選択必修、自由選択）	藤田保健衛生大学病院（救急診療科）

他9施設

●協力施設

医療法人社団帰厚堂 南昌病院	国民健康保険 葛巻病院	岩手県赤十字血液センター
----------------	-------------	--------------

■教育体制

- ・岩手県臨床研修医合同オリエンテーション
- ・AHA 認定のBLS,ACLS,PTLS 講習会必須（受講費 病院負担）
- ・死亡症例検討会
- ・医局カンファランス
- ・盛南地域医療研究会
- ・赤十字病院臨床研修医研修会
- ・イーハトーヴレジデントスキルアップセミナー
- ・CPC

■メッセージ

●指導医から一言

当院は県都盛岡の南部に位置し、地域の中核病院としての盛岡周辺のみならず県内各地からの患者を受け入れ診療にあたっています。

救急診療は、地域の輪番病院の一つであり一次から二次まで様々な症例を経験できます。医局内の垣根は低く困った症例などは他科の医師に気軽に相談できる雰囲気があります。救急患者数や病床数などは研修を行うにはちょうど良い規模の病院で、適度に忙しく適度に余裕のある研修生活が送れると思います。

盛岡市内という立地は、学会出張へのアクセスの良さや市内で行われる研究会へ参加しやすいというメリットがありますし、プライベートでのQOLを損なわない環境であると思います。

ぜひ当院で研修をしてみませんか。医局員一同お待ちしております。

●先輩研修医から一言

当院での研修のメリットとして大きく3つのことが挙げられます。まず、1つめとして、オリエンテーション期間が1ヵ月と長く、看護部・薬剤部・放射線部などで研修を行いチーム医療の大切さを学びます。先輩医師の経験をもとに始めたことで、院内スタッフとのコミュニケーションを図り、後の研修医生活を円滑にするのに役立ちます。2つめに、自分が積極的にあればそれだけ指導医、スタッフとも熱心に指導してくれときには優しく見守ってくれます。3つめに、ある科をローテート中でも他科において興味のある症例等があればフレキシブルに動いて経験することが出来ます。ここ盛岡赤十字病院には、自分の経験や失敗を重ねた分、大きく成長できる環境が整っています。ぜひ、一緒に有意義な研修をしていきましょう。

■病院理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。

■診療内容

●診療の特徴、実績

当院は地域の中核病院としてプライマリケアを実践している病院です。夜間救急患者も多く、一次救急から二次救急まで多種多様な患者様が来院します。

●診療科・医師数

診療科名	消化器科	循環器科	血液内科	呼吸器科	総合内科	小児科	小児外科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科
医師数	3	4	2	2	1	4	1	5	3	2	1
指導医数	3	4	2	2	1	4	0	5	2	2	1

診療科名	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	リハ科	緩和ケア科	病理診断科	健診部	合計
医師数	3	7	1	3	3	3	1	2	1	1	53
指導医数	2	5	1	2	2	2	1	2	1	1	45

- 許可病床数：438床（一般 438床）
- 入院患者数（1日平均）：276.1人
- 外来患者数（1日平均）：579.3人
- 平均在院日数（一般病床）：10.9日
- 分娩件数：985件
- 救急医療の提供実績：非輪番日の休日・夜間は医師1名、産婦人科医1名が当直を行っております。3日に1回の輪番日には内科系外科系医師各1名、産婦人科医1名体制となっており、月数回小児輪番日も行っております。また、当直医の専門以外の急患が来院した場合には、全科オンコール制をとっており、24時間体制で呼び出しに応じています。
- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：8,463件
- 救急車取扱件数：1,896件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】515,000円（月額、手当・税込）、6,180,000円（年額、賞与・手当・税込）
【2年次】592,000円（月額、手当・税込）、7,100,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：日本赤十字社健康保険組合、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無（住居手当支給）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（7時30分から19時） 早朝保育・延長保育有り
【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：8名
- 応募資格：平成19年度以降医師免許取得者又は平成30年に医師免許取得見込の者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業（見込）証明書 (3)成績証明書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年7月末頃の予定
- 試験実施日：平成29年8月11日 岩手県臨床研修病院合同面接会 又は 随時

■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 3名 うち女性 0名
2年次 7名 うち女性 3名
- 研修医の主な出身大学：岩手医科大学、獨協医科大学、北里大学
- 当直回数：4回（5月連休明けから開始）
- 研修修了後の進路：当院、岩手医科大学、埼玉医科大学総合医療センター
- 後期研修プログラムの有無：無し

■申し込み、問い合わせ先

盛岡赤十字病院 総務課 臨床研修担当
 020-8560 岩手県盛岡市三本柳 6-1-1
 TEL 019-637-3111(内246) FAX 019-637-3558
 E-mail kensyu@morioka.jrc.or.jp

●当院の臨床研修の特色

研修プログラムは、内科・外科・麻酔科・救急部門等の必修を除く 9.5 ヶ月は各自の選択で決められる、自由度を重視した内容です。内科・外科については、同一科に 2-3 ヶ月間所属し、時間をかけてじっくりと学べる体制としていることが特徴です。救急部門は、2 年間の研修期間を通じて行う日当直と平日の救急係に加え、1 ヶ月の集中した研修期間を合計して 3 ヶ月とします。小児科・産婦人科・精神科については協力病院で、地域医療については同一医療圏である奥州市国民健康保険まごころ病院又は奥州市国民健康保険衣川診療所において研修を実施します。自由選択期間は、研修医の希望に応じて当院及び県内に多数ある協力型病院・協力施設の標榜する全診療科の中からの選択となります。当院は、県南の基幹病院として多彩な、1 日平均 8 台の救急車を受け入れる 2.5 次までの救急を扱いながら、同時に地域医療もこなす skill が求められます。このような基盤を元に、数多くの研修医を数十年にわたって送り出してきた実績があります。指導医・研修医の隔てが小さく、アットホームな雰囲気のもと、見学に終わらないプライマリケア、実践重視の研修を展開しています。積極性溢れる研修医の応募を期待しています。

■プログラム紹介 (参考：平成 29 年度開始プログラム) 平成 30 年度開始プログラム変更予定あり

●プログラム名／プログラム責任者 : 岩手県立胆沢病院卒後臨床研修プログラム / 米田 真也
 ●研修スケジュール 募集人数 8 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科						麻酔科	救急部門	外科			小児科
2 年次	産婦人科	地域医療	精神科	自由選択								

●協力型病院名 (科目)

岩手県立磐井病院 (小児科、産婦人科、神経内科 他)	岩手県立中部病院 (小児科、産婦人科、神経内科 他)
岩手県立中央病院 (小児科、産婦人科、神経内科 他)	独立行政法人国立病院機構岩手病院 (内科)
医療法人社団創生会胆江病院 (精神科)	岩手県立江刺病院 (地域医療)

他 10 施設

●協力施設

奥州市国民健康保険まごころ病院 岩手県赤十字血液センター	奥州市国民健康保険衣川診療所	岩手県奥州保健所
---------------------------------	----------------	----------

■教育体制

研修医講義：10 回程度 / 年 臨床病理研究会の実施状況：不定期 / 年 救急症例検討会：毎週月曜夕方 図書室：有り	インターネット利用環境：有り (利用場所：研究室他) 文献検索データベース：有り 学会・研究会への参加費用支給：有り ※支給限度有り
--	--

■メッセージ

<h3>●指導医から一言</h3> <p>当院は岩手県南の基幹病院で、標榜診療科 22 を数え、救急を始め、各種疾患の地域完結医療の実践をめざしています。周囲に救急病院が無い状況で、救急車搬入台数・手術数・内視鏡検査等の数なども、病院規模に比べて多い傾向にあります。一方、地域の特性として高齢者の割合も高いことから、地域医療の視点を持った診療も必要です。すなわち、救急・ロボット手術のダ・ピンチを初めとした高度な医療から地域医療まで、幅広い研修が出来ることが特徴です。研修医は、一年次より救急医療に直接的に関わります。病棟でも、主治医に近い立場で指導医のバックアップのもと、担当医として診療に参加します。当院で研修医の出来ることは無限にあります。是非病院見学に来て研修医の仕事の内容を、目の輝きを見てください。</p>
<h3>●先輩研修医から一言</h3> <p>私はこの病院で研修を始めてまだ半年ほどですが、そもそも私が初期研修の場として当院を選んだ理由は、見学に来たときにここなら自分のモチベーションを高く保ちながら楽しく、そして実践的な研修できそうだと感じたからです。当院の研修では、研修医が受け身の姿勢で上級医の診療から学ぶのではなく、まずは自分の手と頭を動かし様々なことを経験しながら学んでいくことを重要視しています。指導医の見守りのもと、診察結果をもとに方針決定に必要な検査をオーダーし、検査結果を評価し治療方針を決定、実際に治療するところまで、研修医の自主性にまかせてもらえます。知識や技術のみならず、必ずしも正しい解答が用意されていない医療現場での問題解決能力が自然と鍛えられます。当院では初期研修を終えた先輩方が後期研修医として多数残っており、診療の最前線で活躍しています。屋根瓦式の研修を重要視している当院では、そんな先輩方に直接相談し実践的なアドバイスをもらうことができます。中規模病院のため、上級医の先生方も距離感が近く、科と科の垣根も低いと、専門にとらわれず様々な疾患を診たい人には特におすすめです。ぜひ一度当院の研修医が活き活きと働く姿を見にいらしてください。</p>

■病院理念

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します

■診療内容

胆江医療圏の中核的病院として、地域の公私医療機関との機能分担と連携を図りながら、一般医療のほか、救急医療及び高度・専門医療を担うものとして、次の機能を有した総合病院です。

- (1) 県南地域の肺癌及び疼痛対策医療の中心施設
- (2) 圏域の呼吸不全・心筋梗塞等の虚血性心疾患・各種脳疾患及び悪性新生物に対する医療
- (3) 患者負担を軽減するためのデイサージャリー部門の設置
- (4) 圏域の病院群輪番制病院として二次救急医療
- (5) 在宅訪問、検診等保健予防活動の推進及び病院ボランティアの受入れ

●診療科・医師数

診療科名	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	検査科	合計
医師数	21	1	9	4	2	3	1	4	1	1	1	5	1	54
指導医数	14	1	7	1	1	2	1	3	0	1	1	3	1	36

- 許可病床数 : 346 床 (一般 337 床)
- 入院患者数 (1 日平均) : 272.6 人
- 外来患者数 (1 日平均) : 612.9 人
- 平均在院日数 (一般病床) : 11.5 日
- 分娩件数 : 0 件
- 救急医療の提供実績 : 平成 28 年は、救急患者受入数が 1 日平均 30.0 人、うち救急車受入数は 7.1 台で 5 年前より 9.6% の増加を示している。

- 医療法上の位置づけ : 2 次医療機関
- 救急取扱件数 : 11,676 件
- 救急車取扱件数 : 2,802 件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科 (産婦人科、精神科を除く)

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当 (実績等による目安) : 【1 年次】422,000 円 (月額、手当・税込)、5,064,000 円 (年額、賞与・手当・税込) 【2 年次】588,000 円 (月額、手当・税込)、7,056,000 円 (年額、賞与・手当・税込)
 - 研修医に対する各種保険等の適用 : 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
 - 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
 - 宿舍の有無 : 有り
 - 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】有り (全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険) 【その他】育児短時間勤務制度、育児休暇、配偶者の出産にかかる休暇、育児参加休暇、子の看護休暇
- ※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 8 名
- 応募資格 : 平成 30 年医師国家試験受験予定者、医師臨床研修マッチング参加者
- 応募必要書類 : (1) 履歴書 (2) 卒業 (見込み) 証明書 (3) 成績証明書 (4) 合同面接会参加申込み書
- 試験内容 : 面接
- 申込締切日 : 平成 29 年 7 月予定
- 試験実施日 : 平成 29 年 8 月 11 日 (金・祝) (予定)

■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 : 1 年次 5 名 うち女性 1 名
2 年次 7 名 うち女性 1 名
- 研修医の主な出身大学 : 東北大学、岩手医科大学、秋田大学、弘前大学、山形大学、自治医科大学、ラトビア大学
- 当直回数 : 4 回
- 研修終了後の進路 : 岩手県立胆沢病院、医仁会武田総合病院
- 後期研修プログラムの有無 : 有り (内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科)

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立胆沢病院 事務局長 023-0864 岩手県奥州市水沢区字龍ヶ馬場 61 番地
 TEL 0197-24-4121 FAX 0197-24-8194
 E-mail EA1006@pref.iwate.jp

●当院の臨床研修の特色

- Point1：臨床研修必修化以前から30年以上にわたり研修医を受け入れてきた実績があり、地域医療の核となる中規模病院ならではのアットホームな雰囲気の中で研修が行われ、更に自由選択科目履修期間を長く設定しており研修医の希望に応じた柔軟なローテーションを提供します。
- Point2：当院は岩手県南・宮城県北の基幹病院であり、各診療科では外来診療、入院診療とも様々な疾患に対する専門的な診療を行っており、また救急診療では一次救急及び二次救急患者が多数来院するため、2年間の初期研修で自然にかなりの実力が身につきます。
- Point3：殆どの必修科（選択必修含む）が敷地内で研修でき、また「いわてイーハトーヴ臨床研修病院群相互乗り入れプログラム」によって岩手県内12の臨床研修基幹病院（当院含む）での「たすきがけ研修」が可能であり、より専門的な研修や特異な症例を体験できる機会を増やし、キャリア形成を応援できる態勢を構築しております。
- Point4：研修目標を「2年目で救急を仕切る」「救急も得意な専門医の取得」「初期研修：多数の実経験（OJT+OFF JT）による自分に合った専門分野の決定」「後期研修：最短コースでの専門医取得」「知識・技能はもちろん態度もプロとなる」「医師としての人間性を磨く」に定め、初期研修終了後は引き続き当院で後期研修を行うコースも多数用意しております。

■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：岩手県立磐井病院初期研修プログラム／佐々木 昭人
- 研修スケジュール 募集人数 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科						救急	麻酔	一般外科	自由			
2年次	精神	小児	産婦	地域				自由					

●協力型病院名（科目）

岩手県立南光病院（精神科）	岩手県立胆沢病院（選択科目）
岩手県立中央病院（選択科目）	岩手県立中部病院（選択科目）
岩手県立大船渡病院（選択科目）	岩手医科大学附属病院（選択科目）

他6施設

●協力施設

特定医療法人博愛会一関病院	独立行政法人国立病院機構岩手病院	一関市国民健康保険藤沢病院
岩手県立千厩病院	医療法人愛生会昭和病院	医療法人西城病院
岩手県一関保健所	岩手県赤十字血液センター	

他5施設

■教育体制

- 【勉強会等】院内オリエンテーション、コメディカル研修（研修開始時）
岩手県内臨床研修病院合同オリエンテーション（研修開始時）
毎週火曜朝の感染症勉強会、木曜日画像診断勉強会（不定期）、毎週月曜日の症例検討会と指導医による研修医への講習会、カンサーボードミーティング（毎月第3木曜日）、月一回の市中病院の先生たちと症例検討会、レジデントスキルアップセミナー（2年次）
県外開催OSCEへの参加（Advanced OSCE、秋田県主催OSCE 他に参加）
- 【特色】岩手県内12の基幹病院（当院含む）に行き研修できる「たすきがけ研修」が可能です。より専門的な研修や特異な症例を体験できる機会を増やし、キャリア形成を応援できる体制を整えております。

■メッセージ

●指導医から一言

当院の臨床研修はOJTを重視し、指導医からのサポートを十分に受けつつ、個々のスキルに応じて研修医が前面に立って診療をするのが特徴です。病棟での診察はもちろん、救急や一般の外来においても診察から検査治療の立案まで行い、皮膚縫合から心肺蘇生に至るまで手技も積極的に行っています。また救急症例検討会や感染症診療勉強会、画像診断勉強会などのOff-JTも充実しております。まずは是非一度、見学にいらしてください。

●先輩研修医から一言

磐井病院は、研修医のうちに色々なことを経験したい方におすすめの岩手県南の地域医療の中心を担う基幹病院です。最近、研修医の人数は年々増えています。それは、当院の研修体制の充実さにあると思います。一人の研修医に多くの診療や手技を経験してもらう環境があり、特に救急外来での日当直や各診療科の初期対応は研修医が行うことが多いです。また、いつでも上級医に相談できる環境なので、失敗を恐れずに何事も積極的にチャレンジできると思います。さらに、初期対応は自分で考え、行動することでより多くのことを学ぶことができ、研修2年目に入りその成果を実感しています。積極的な方はもちろん、あまり積極的でない方も自分がやるしかない状況になるので嫌でも度胸と実力はつくと思います。上級医の先生や先輩研修医も大変教育熱心で、雰囲気もいい病院なのでぜひ一度見学にいらして下さい。

■病院理念

地域の皆様に納得のできる医療を提供します。

■診療内容

●診療の特徴、実績

岩手県南から宮城県北までの広域の医療圏において、機能分担（病病・病診連携）を推進しながら、主として高度医療や急性期・救急医療を担っています。リニアックや緩和ケア病棟、外来化学療法体制を整備し、特にがん治療に力を入れています。また、手術の機材は常に最新のものを取り入れ、安全で難しい手術を行えるような環境を整えています。

●診療科・医師数

診療科名	消	救急	呼吸	循	神内	小	外	整	脳外	皮	泌	産	放	形	緩和	麻	眼	合計
医師数	7	3	1	3	2	4	8	4	3	1	2	3	2	1	1	3	1	49
指導医数	5	2	1	2	2	3	7	4	3	0	1	2	1	0	1	2	0	36

- 許可病床数：315床（一般305床、結核10床）
- 入院患者数（1日平均）：245.9人
- 外来患者数（1日平均）：469.6人
- 平均在院日数（一般病床）：10.6日
- 分娩件数：640件
- 救急医療の提供実績：一関管内の救急搬送患者の半数近くを受入れているほか、宮城県北部からも多くの救急患者を受入れている。また、受入れ患者の50%以上が入院するなど、重症患者を中心に広域の救急医療を担っている。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：13,560件
- 救急車取扱件数：2,865件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】505,000円（月額、手当・税込）、6,060,000円（年額、賞与・手当・税込）
【2年次】612,300円（月額、手当・税込）、7,347,600円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：協会けんぽ、厚生年金保険、労働災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（24時間保育所完備）
【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：10名
- 応募資格：平成30年度に医師免許取得見込で、マッチングに参加登録する予定の者
- 応募必要書類：(1)臨床研修申込書 (2)研修医履歴書 (3)卒業見込証明書 (4)成績証明書
- 試験内容：(1)面接試験 (2)書類審査等
- 申込締切日：平成29年7月予定
- 試験実施日：平成29年8月予定

■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 9名 うち女性 0名
2年次 2名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：東北大学、岩手医科大学、延世原州医科大学、弘前大学、新潟大学、山形大学
- 当直回数：4回（当直は2年次から開始、1年次は5月から副当直研修（17：15～24：00））
- 研修終了後の進路：岩手県立磐井病院、岩手県立中央病院、信州大学病院、岩手医科大学、東京医療センター、国立国際医療研究センター
- 後期研修プログラムの有無：有り（循環器科、消化器科、小児科、外科、救急科（呼吸器科）、整形外科、形成外科、産婦人科、麻酔科、泌尿器科、緩和医療科、放射線治療科、放射線診断科、皮膚科、眼科、総合診療科）

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立磐井病院
臨床研修センター

029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17番地
TEL 0191-23-3452 FAX 0191-23-9691
E-mail iwaihp@yahoo.co.jp

●当院の臨床研修の特色

当院は救命救急センターを併設し、1次救急から3次救急の医療を担っており、救急医療の実践を通じてプライマリー研修に適した環境にあります。

研修は必須科目の内科6ヶ月、救急3ヶ月（当直20回で1ヶ月）、地域医療1ヶ月、選択必須として周産期・精神科を各1ヶ月と将来の進路に合わせて自由選択できる研修を12ヶ月間としたプログラムとなっています。

医療の原点である「こころ」を持ち、真摯に病気や患者に接する態度と関連する「診療科」とのコンサルテーションや協同診療など医師として必要な協調姿勢を身につけることを目標にしています。また、岩手県内の臨床研修病院（12病院）で構成している「いわてイーハトーヴ臨床病院群」の希望する病院で研修を受けられる体制が整っています。

■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：岩手県立大船渡病院臨床研修プログラム／中野 達也
- 研修スケジュール 募集人数7名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	自由選択 <small>(オリエンテーション)</small>	内 科						外 科	麻酔科	救 急	精神科	周産期 <small>(小児科or産婦人科)</small>	
2年次	自由選択			地域医療		自由選択							

●協力型病院名（科目）

岩手医科大学附属病院（内科系、外科系、小児科、麻酔科、救急医療、産婦人科、精神科ほか）	岩手県立中央病院（内科系、外科系、小児科、麻酔科、救急医療、産婦人科、精神科ほか）
岩手県立中部病院（内科系、外科系、小児科、麻酔科、救急医療、産婦人科、精神科ほか）	岩手県立胆沢病院（内科系、外科系、小児科、麻酔科、救急医療、産婦人科、精神科ほか）
岩手県立磐井病院（内科系、外科系、小児科、麻酔科、救急医療、産婦人科、精神科ほか）	岩手県立二戸病院（内科系、外科系、小児科、麻酔科、救急医療、産婦人科、精神科ほか）

他 10 施設

●協力施設

岩手県立大船渡病院附属住田地域診療センター	岩手県大船渡保健所	特別養護老人ホーム富岡荘
特別養護老人ホームさんりくの園	特別養護老人ホーム高寿園	特別養護老人ホームすみた荘
介護老人保健施設気仙苑	介護老人保健施設松原苑	

他 2 施設

■教育体制

<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修医合同オリエンテーション（岩手県） ・イーハトーヴレジデントスキルアップセミナー（岩手県） ・各科救急講義（月2回） ・研修医救急症例発表（月1回） ・症例検討会（月1回） ・死亡症例検討会 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床病理検討会 ・緩和ケア医師研修会（年1回） ・災害医療訓練（年1回） ・感染症レクチャー（年3クール） ・BLA、ACLS、TNT 講習 ・各種職場研修会（医療安全、院内感染、人工呼吸療法、緩和ケア等）
---	---

■メッセージ

<h3>●指導医から一言</h3> <p>岩手県立大船渡病院は岩手県沿岸のセンター病院機能を果たし、高度先進医療などの特殊な分野を除き医療圏のニーズを満たす地域完結型の病院を目指しています。また、併設する救命救急センターは、1次から3次救急まで県南沿岸の救急医療を一手に担っています。恵まれた設備・環境の中でプライマリーケア、専門医への適時適切な紹介・引き渡しができる技量の習得から3次救急医療の実践など初期研修のトレーニングとして最適な場を提供しています。地域医療研修では医療・保健・福祉を包括してみる目を養ってほしいと思っています。また、指導医による魅力的なレクチャーや1年次研修医と2年次研修医のパートナーシップを重視した屋根瓦方式の指導を基本としております。医療のスペシャリスト、総合医療・地域医療を目指す諸君の応募を期待しています。</p> <h3>●先輩研修医から一言</h3> <p>岩手県立大船渡病院は、三陸のリアス式海岸を望む大船渡市にあり、気仙医療圏の中核を担っています。岩手県には3つの救急センターがありますが、そのうち1つが当院に併設されています。当院は「地域」の病院でもあるため、救急外来では1次～3次救急まで幅広い初期対応を学ぶことができ、救急での実践力は確実に身につきます。また、当院には周産期母子医療センターがあり、岩手県では数少ない地域完結型周産期医療を提供しています。その他、研修医が毎年作成する「大船渡病院救急マニュアル」は他病院からの評価も高いですし、秋には沖縄県立中部病院感染症内科の先生方をお招きしてご指導いただいております。そして何より職員が良い人ばかりです。このように当院は、2年間の研修を行う上で非常に良い環境だと思います。ぜひ一度見学にいらしてください。</p>

■病院理念

- 【基本理念】
優しさと信頼のある医療の実現
- 【行動指針】
Greet（挨拶する） Thank（感謝する） Respect（敬意を払う）

■診療内容

- 診療の特徴、実績
当院は、岩手県の沿岸南部に位置し、人口約6万4千人の医療圏にあり、病床数489床の急性期医療を担っている中核病院です。診療科は20科を標榜しており、救命救急センターを併設し、1次救急から3次救急医療を24時間体制で担い、平成27年度実績では、救急車の受入は6.9人/日、救急車以外29.9人/日となっております。また、県の地域周産期母子医療センターとして、分娩件数は年間500件以上の実績があり、遠隔医療を実践し、遠隔妊婦健診や胎児超音波動画伝送を行っております。

診療科名	内科	呼吸器科	循環器科	血液内科	外科	整形外科	脳神経外科	精神科	眼科	小児科	産婦人科	泌尿器科	病理診断科	合計	合計
医師数	4	1	3	1	9	3	3	2	1	5	5	3	1	41	41
指導医数	2	1	1	1	8	2	1	2	1	3	3	1	0	26	22

- 許可病床数：489床（一般370床、結核10床、精神105床、感染症4床）
- 入院患者数（1日平均）：306.8人
- 外来患者数（1日平均）：722.1人
- 平均在院日数（一般病床）：13.4日
- 分娩件数：515件
- 救急医療の提供実績：一日平均救急患者数36.8人（うち救急車搬送患者6.9）、CPA搬送患者数93人/年間、ヘリポートを敷地内に建設し、平成25年9月より稼働。年間30名を超える救命救急士の研修受入を行っていただきます。

- 医療法上の位置づけ：3次医療機関
- 救急取扱件数：13,451件
- 救急車取扱件数：2,651件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処 遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】645,000円（月額、手当、税込）、7,740,000円（月額、手当、税込）
【2年次】844,000円（月額、手当、税込）、10,128,000円（月額、手当、税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】無し
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（基本：7時30分～18時30分、延長保育：6時30分～20時30分、24時間保育）
【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：7名
- 応募資格：平成29年度医師国家試験受験見込みの者
- 応募必要書類：(1) 研修医履歴書、(2) 卒業見込み証明書、(3) 成績証明書、(4) 志望理由書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年8月上旬
- 試験実施日：平成29年8月11日（金・祝）

■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 2名 うち女性 1名
2年次 7名 うち女性 2名
- 研修医の主な出身大学：岩手医科大学、山形大学、自治医科大学
- 当直回数：5回
- 研修修了後の進路：岩手医科大学附属病院
- 後期研修プログラムの有無：要相談（個別にプログラムを作成）
（外科、産婦人科、小児科、泌尿器科、脳神経外科、救急科、精神科、病理診断科）

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立大船渡病院
事務局総務課 臨床研修管理室
022-8512 岩手県大船渡市大船渡町字山馬越10番地1
TEL 0192-26-1111 FAX 0192-27-9285
E-mail rinken@pref.iwate.jp

●当院の臨床研修の特色

当院は、釜石・大槌医療圏の基幹病院として年間8千件前後の救急医療を一手に担っていますが、研修医募集は年4名です。質・量ともに密度の濃い初期研修ができるのが特徴です。

指導は資格を持った臨床研修指導医を中心にマンツーマン方式で行い、医療チームの一員として診療に参加しながら実践的な知識と技術を習得し、さらに高度医療が必要な場合には適時適切な紹介ができる診断力を養うことができます。診療科の垣根は全くなく、日常的に医局内での相談が行われ20名の医師全員の経験（公私共に）を常に吸収できる環境です。

また、当医療圏は県内でも特に高齢化率が高く、現在当院を中心に地域医療・保健・福祉施設と密接な連携の構築が推進されており、日本が今後確実に迎える包括ケア・地域医療の問題を包括的に学ぶことができます。

このような環境を背景に地域医療研修では開業医、在宅医療、介護施設などで本当の地域医療に接することができます。

さらに地域の医師会・歯科医師会・薬剤師会との交流があるのも当院の特徴で、定期的に院内で合同症例検討会を開催し、幅広い経験をすることもできます。

また、院内他職種スタッフとの人間関係や連携も良好で、意見の交流も常に行われのびのびと研修することができます。いつでも見学に来てください。

■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：釜石病院いわてイーハトーヴ前期臨床研修プログラム／吉嶺 厚生
- 研修スケジュール 募集人数4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門			選択必修科目		選択科目
2年次	地域医療							選択科目				

●協力型病院名（科目）

岩手県立中央病院（内科・救急部門・外科・麻酔科・産婦人科・小児科）	岩手県立大船渡病院（内科・救急部門・外科・麻酔科・産婦人科・小児科）
岩手県立中部病院（内科・救急部門・外科・麻酔科・産婦人科・小児科）	岩手医科大学附属病院（内科・救急部門・外科・麻酔科・産婦人科・小児科）
独立行政法人国立病院機構釜石病院（地域医療）	釜石厚生病院（精神科）

他9施設

●協力施設

岩手県釜石保健所	介護老人保健施設はまゆりケアセンター	小泉医院
堀耳鼻咽喉科眼科医院	釜石ファミリークリニック	岩手県赤十字血液センター

■教育体制

現在、臨床研修指導医講習会を受講した医師は14名でプログラム責任者を中心に各科の指導に当たっています。研修開始時には2泊3日の岩手県臨床研修医合同オリエンテーションに参加していただいています。院内勉強会は各種開催されており、放射線科専門医による読影勉強会（毎月）、医師会の先生方を交えた症例検討会（年4回）、上級医によるモーニングセミナー、感染対策、医療安全、NST、化学療法、緩和医療などの研修会や病理検討会は随時行われています。また大学病院や他の県立病院とのTVカンファランスも積極的に開催され、医師会主催の学術講演会も毎月開催されています。さらに縫合、挿管、中心静脈穿刺、BLSシュミレーターや基本手技を開発したDVDは常時使うことができ、また各自にPCが支給され、県情報ハイウェイで常時インターネット検索が可能です。

■メッセージ

●指導医から一言

急病・救急搬送の受け入れ先として、釜石・大槌医療圏の中心である岩手県立釜石病院は、約5万人の地域の皆さんのために懸命に医療を行っています。救急は1次～3次まで受け入れます。より高度な治療が必要な場合は岩手医科大学など高次医療施設に転送することもあります。できるだけ釜石での完結を目指しています。高齢化が進み、退院にこぎつけた患者さんでも自宅に帰れないこともあり、様々な業種や開業医・医師会と協力して調整しています。各科に特化した医療はもちろんですが、診療を通じて患者さん個々の背景に沿った全人的な対応を学ぶことができます。272床に対し常勤医20名と少なくはありますが、研修医に対しては、全員が指導医として積極的に指導を行います。あたたかく柔軟な研修が可能ですので、ぜひ、見学にいらしてください。

●先輩研修医から一言

当院は県内の臨床研修病院で最も規模の小さい病院です。また、患者さん含め皆が温かく最も働きやすい病院の1つです。特に当院は震災を機にいらした先生も多く、熱い気持ちで研修医に接してくれます。勉強会では先生方を一人で独占することも多く、私の深達度を把握したうえで指導して下さるので、質問など躊躇せず自分のペースで研修できます。また、手技に関しては研修中の診療科に限らず経験することができます。一方、小規模病院の弱点である周囲との競争が少ない点は、セミナーなどの参加費用を市が負担してくれる釜石独自の制度を利用して、週末遠方に出かけ弱点を補強することも可能です。最後に、研修を始めてから約9か月、朝、病院に行きたくないと思ったことはありません。釜石病院は職員一同、学年・成績問わず歓迎いたします。

■病院理念

＜県立釜石病院の理念＞

患者さんの安全で良質な医療を提供します。

＜県立釜石病院の基本方針＞

1. 全人的医療を提供するため、患者さんの人権を尊重し、その尊厳を守りながら医療に当たります。
2. 「患者さん中心の医療」を実践するため、患者さんの声をよく聞き、よく理解し、インフォームドコンセントに基づいた医療に当たります。
3. 医療の質を高めるため、「根拠に基づいた医療」を提供します。
4. 地域に密着した医療を提供するため、他の医療機関・施設との連携を推進します。
5. 患者さんの健康と生命を守るため、全職員は人間愛を持って自己研鑽に努め専門性を結集します。
6. 上記5項目を実現し継続するため、健全な病院経営を目指します。

■診療内容

●診療の特徴、実績

当院は、釜石医療圏の急性期医療を担当する基幹病院として幅広い疾患に対応し、24時間体制で救急医療を担っています。

平成27年度は約1,030件の手術を施行し、診療各科の良好な連携のもと遠隔病理診断などのサポートを得ながら効果的な治療に努めています。平成20年度からは院内助産システムの稼働、外来化学療法導入、多列CT及びMRIの設置により患者サービス、診断・治療技術の向上が図られています。放射線治療装置については、平成23年度に整備し、平成24年6月から本格稼働しています。また、電子カルテを平成27年2月に導入し診療情報の真正性・見読性・保存性を確立しています。

さらに、定期的な症例検討会などを通して市内診療所、保健・福祉施設、救急隊などとの連携も密接に保っています。

●診療科・医師数

診療科名	内科	総合診療科	消化器科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	放射線科	麻酔科	合計
医師数	4	1	2	2	4	3	1	1		1	1	20
指導医数	2	1	1	2	3	2	1	1		1		14

- 許可病床数：272床（一般272床）
 - 入院患者数（1日平均）：187.4人
 - 外来患者数（1日平均）：469.9人
 - 平均在院日数（一般病床）：16日
 - 分娩件数：189件
 - 救急医療の提供実績：救急件数 7,564件（うち救急車受入 1,847件）
- 当院は、釜石保健医療圏の救急医療を24時間体制で一手に担っており、救急医療研修にも積極的に取り組んでいます。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：7,564件
- 救急車取扱件数：1,847件
- 救急医療を行う診療科：内科系、外科系、小児科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(RES)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】470,000円（月額、手当・税込）、5,640,000円（年額、賞与・手当・税込）
【2年次】580,000円（月額、手当・税込）、6,960,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（24時間対応 可）
【その他】短時間勤務制度有り

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：4名
- 応募資格：平成29年度医師国家試験受験予定者、もしくは既に医師免許を取得している者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業（見込）証明書、もしくは医師免許証 (3)健康診断書 (4)成績証明書
- 試験内容：面接選考
- 申込締切日：平成29年7月31日
- 試験実施日：平成29年8月中旬

■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 1名 うち女性 0名
2年次 1名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：秋田大学医学部、自治医科大学
- 当直回数：3回
- 研修終了後の進路：産業医科大学附属病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（総合診療科、内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科）

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立釜石病院
事務局

026-8550 岩手県釜石市甲子町第10地割483番地6
TEL 0193-25-2011 FAX 0193-23-9479
E-mail resident@kamaishi-hp.com

●当院の臨床研修の特色

- 1：少人数なので研修診療科の途中変更など、プログラムの自由度が高い。
- 2：症例の取り合いがなく、自然に多数の経験を積み、医師としての腕力がつく。
- 3：岩手県イーハトーヴ臨床研修病院群に属し、たすきがけ研修が可能。
- 4：研修医が放置されて路頭に迷わないように各科の指導医が心がけている。
- 5：一年目は22時までの半当直で実力を着け、二年目から上級医とともに当直に入る。
- 6：後期研修は研修医のニーズに合わせて随時相談を受けている。いままで産婦人科、外科、消化器科、麻酔科、多科ローテート継続、などの実績がある。
- 7：研修終了後の勤務先、入局については特に制限はなく全くの自由である。
- 8：当院の研修医になりながら社会人大学院に入学するのも可能。
- 9：研修医のための研修医室があり、上級医に気兼ねなく休憩できる。
- 10：各診療科の垣根が低く、非常にアットホームな医局。
- 11：名古屋大学、東北大学等からの研修医を受入れている。

■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：岩手県立宮古病院研修プログラム／菅原 俊道
- 研修スケジュール 募集人数5名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科						救急(外科所属)	外科	選択必修(麻・精・小・産)及び自由選択				
2年次	地域医療	自由選択						救急(当直40回以上)					

●協力型病院名（科目）

岩手医科大学附属病院（全分野）	岩手県立中央病院（全分野（精神科を除く））
岩手県立中部病院（全分野（精神科を除く））	盛岡赤十字病院（全分野（精神科を除く））
岩手県立胆沢病院（全分野（精神科を除く））	三陸病院（精神科）

他8施設

●協力施設

宮古市国保田老診療所	岩手県立山田病院	介護老人施設桜ヶ丘
岩手県宮古保健所	岩手県赤十字血液センター	済生会岩泉病院
宮古市保健福祉部		

■教育体制

- * 岩手県合同研修医オリエンテーション4月（1泊2日）
- * 宮古医師会との合同カンファランス（月1回）
- * 死亡症例報告会（月1回）
- * 院内研修会（随時）
- * 研修医連絡会（月1回）（研修全般について話し合い）
- * シミュレーター実習（随時）
- * CPC最低年1回
- * 研修医症例報告会（月1回）
- * 救急症例振り返りの会（当直の翌朝）
- * 院外研修会（医師会講演会）への参加
- * 岩手県合同2年次研修医スキルアップセミナー（9月）

■メッセージ

●指導医から一言

当院は本州最東端の自然豊かな宮古・下閉伊地区約9万人の唯一最後の砦として、研修医を含めた勤務医全員で協力し合い、日夜診療業務に粛々と取り組んでいます。

病院の規模に比して勤務医の数が少ないため診療科ごとの垣根が低く、昨今の震災・台風被害・医療崩壊の難局を乗り越えるべく各科協力体制が確立しております。そんな当院での初期臨床研修は、少人数なゆえ自由度が高く症例も多く必ずや充実したものになるでしょう。

自然を愛し、群れず、争わず、周囲に流されず、我が道を行く学生諸子は、（少し遠距離ですが）是非一度、一泊二日で気軽に当院に見学に来てみてください。百聞は一見にしかずです。年齢経歴学力体力性格性別はすべて問いません。心からお待ちしております。

●先輩研修医から一言

僕が宮古病院に初めて見学に行ったのは大学5年生の時でした。その時は友人に誘われて見学に行ったわけですが、医局の雰囲気や研修のシステムが自分に合っているなど感じ宮古病院で研修をすることを決めました。

宮古での研修の特徴は1年次研修医は当直が22時までという所と、研修医数が少ないためローテーションする科をかなり自由に決められる所だと思います。当直では1年次研修医が一人だけで対応するという事は無く、常に上級医の先生がチェックをしてくれるため安心して診察することができます。また、22時までにはほとんどの患者さんが来るため症例も多く経験できます。

ローテーションに関しては2年間で14か月の自由選択があり、研修医数も少ないため自分の回りたい科を自由に選ぶことができます。将来の科を決めかねている人には非常に良い研修先だと思います。

病院見学にまだ行ってないという方や、研修先を迷っているという方は是非一度見学に来てみてはいかがでしょうか。

■病院理念

地域の皆様の健康と命を守るため

- 良質な医療の提供
- 信頼され親しまれる病院
- 働きがいのある病院づくりを目指します

基本方針

- 安全でやさしい医療の提供
- 救急医療の確保
- 地域の保健・福祉及び他医療機関との連携の推進
- 科学的根拠に基づく質の高い医療の提供
- 働きがいのある活気に満ちた職場づくり
- 環境に配慮した病院づくり

■診療内容

●診療の特徴、実績

宮古・下閉伊地区（医療人口約9万人）唯一の広域基幹病院に位置付けられ、特に救急医療は当院が一手に引き受け、年間急患数12,000人前後です。診療で忙しい病院であるゆえ研修医と言えども即戦力として多くの症例が経験できます。

●診療科・医師数

診療科名	呼	消	循	神内	小	外	脳外	整	形	泌	産婦	放	合計
医師数	2	4	4	1	3	5	2	3	1	1	3	1	30
指導医数		3	3	1	2	4	1	2	1	1	1	1	20

- 許可病床数：344床（一般330床、結核10床、感染症4床）
- 入院患者数（1日平均）：238人
- 外来患者数（1日平均）：475人
- 平均在院日数（一般病床）：14日
- 分娩件数：391件
- 救急医療の提供実績：
- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：11,192件
- 救急車取扱件数：2,906件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】520,000円（月額、手当・税込）、6,240,000円（年額、賞与・手当・税込）
【2年次】770,000円（月額、手当・税込）、9,240,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（病院敷地内、24時間保育、病後児保育有り）
【その他】短時間勤務制度、当直免除、レディースルーム

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：5名
- 応募資格：平成30年医師国家試験合格見込みの者、マッチングに参加
- 応募必要書類：(1)臨床研修申込書 (2)履歴書 (3)卒業見込み証明書 (4)成績証明書 (5)健康診断書
- 試験内容：(1)面接 (2)書類審査
- 申込締切日：平成29年7月
- 試験実施日：平成29年8月11日 岩手県臨床研修病院合同面接会

■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 2名 うち女性 0名
2年次 2名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：岩手医科大学 2名、福井大 1名、自治医科大学 1名
- 当直回数：4回（当直は2年次から。1年次は副当直として17時15分から22時まで。）
- 研修終了後の進路：岩手県立宮古病院、東京北医療センター
- 後期研修プログラムの有無：無し（外科、産婦人科、循環器科、消化器科・呼吸器科・小児科・整形外科・脳神経外科）

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立宮古病院 027-0096 岩手県宮古市崎嶽ヶ崎第1地割11番地26
TEL 0193-62-4011 FAX 0193-63-6941
事務局 E-mail y-akira@pref.iwate.jp

●当院の臨床研修の特色

- 1 研修診療科に研修医が 1 名から最多 2 名とし、密度の濃い研修が受けられます。
- 1 年次の 7 月からの当直は医師 3 人体制から始めます。
- 初期研修後の進路に対する制約はありません。
- 救命救急センターと回復期リハ病棟もあり急性期から回復期まで経験できます。
- 自由な選択科目は、最大 11 ヶ月可能です。
- 各診療科間の垣根が低いので、相談等しやすい医局です。
- 歓迎会、納涼ビール列車、クリスマスコンサート等楽しい行事がいっぱい。

■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：岩手県立久慈病院臨床研修プログラム／遠野 千尋
- 研修スケジュール 募集人数 8 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	オリエンテーション	内 科						救 急	麻 酔 科	精 神 科	外 科	周産期
2 年次	選択科						地域医療	選択科				

●協力型病院名（科目）

社団法人医療法人祐和会北リアス病院（精神科）	岩手県立二戸病院（内科・救急・麻酔・産婦人科・小児科・選択）
岩手医科大学附属病院（内科・救急・麻酔・精神科・産婦人科・小児科・選択）	岩手県立宮古病院（内科・救急・麻酔・産婦人科・小児科・選択）
岩手県立一戸病院（精神科）	岩手県立中央病院（内科・救急・麻酔・精神科・産婦人科・小児科・選択）

他 8 施設

●協力施設

岩手県立久慈保健所	洋野町国民健康保険種市病院	洋野町国民健康保険大野診療所
久慈市国民健康保険山形診療所	国民健康保険田野畑診療所	岩手県赤十字血液センター
岩手県立軽米病院		

■教育体制

- 20 名の研修指導医が理解しやすく研修指導にあたります。
- 研修医の個々のデスクにはインターネット使用可能な PC を配備し、また、院内の広い範囲で Wi-Fi が使用できますので、情報収集に充実した研修を受けられるよう配慮しています。
- 医療情報資源として「医学中央雑誌」、「メディカルオンライン」、「Up to Date」、「今日の診療」が利用できます。
- 1 年次に BLS と ACLS のプロバイダの資格取得を義務付けています。
- 院内、院外の講師による様々な分野の研修会が多数開催されています。
- 毎月、死亡症例検討会、救急症例検討会が開催されています。
- 毎週、カンサナーボードが開催されています。

■メッセージ

●指導医から一言

岩手県立久慈病院は、県北沿岸で約 6 万人の住民を対象とし、救命救急センター（20 床）と回復期リハビリテーション病棟（43 床）を併設した 338 床の地域完結型中規模総合病院です。この地域唯一の 3 次医療機関として、1 次から 3 次救急までの様々な患者さんの診療にあたっています。診療科は 20 科あり、それぞれの診療科間の連携は非常によく取れています。電子カルテ、PACS（フィルムレス装置）、64 列 MDCT、1.5T の MRI など最新の医療設備を有し、診療の充実を図っています。プログラムは自由度が高く、進路希望に適した研修が出来ます。2 年間の短い研修期間ですが、プライマリー・ケアから専門治療まで習得しましょう。

●先輩研修医から一言

岩手県立久慈病院は二次医療圏として久慈市と洋野町、野田村、普代村を担う中核病院で、その面積は東京都 23 区の 1.5 倍の広さです。この広さを考えると久慈病院は地域の医療においてとても大きな役割を果たしていることはイメージし易いでしょう。「岩手の田舎」のイメージで人数も少なく医療も活発ではないと思われがちですが、この広い医療圏を見ると、そんな緩い病院ではありません。上級医の先生方は少ない人数の中でも地域医療を守っています。そんな中で私たち研修医は、研修医ながらも沢山の責任の中で、出来る限りの医療を行っています。医師の人数の多い病院では触ることもできないような手技も、上級医の指導のもと、全力で取り組んでいます。また社会人大学院、学会、資格取得にも積極的な病院でもあります。少なくとも久慈病院なら見学だけの研修生活ではなく、一人の医師として医療に従事し、医師としての成長する研修が出来ると思います。ぜひ興味がある方は一度見学に来てください。沢山の見学者をお待ちしております。

■病院理念

当院は、岩手県立病院の基本理念「県下にあまねく医療の均霑（きんてん）を」に則り、良質で安全な医療を提供し、患者さんとのふれあいに満ちた信頼される病院を目指します。

■診療内容

●診療の特徴、実績

救命救急医療を担う救命救急センターを併設しており、高度な医療機器を整備するとともに救急専門医 2 名のほか各診療科の専門医が 3 次救急疾患はもちろん一次二次疾患の内容も多種多様な患者の診療にあたっています。また、回復期リハビリ病棟の設置により急性期から回復期までの幅広い治療も行なっています。

地域がん診療連携拠点病院として、がん治療認定医が 5 名おり、質の高いがんの診断、治療に取り組んでいます。

●診療科・医師数

診療科名	消化器科	循環器科	神経内科	総合診療科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	形成外科
医師数	5	3	2	2	1	5	2	3	1
指導医数	2	0	1	2	1	3	1	3	1

診療科名	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	放射線科	救急	研修 1 年	研修 2 年	合計
医師数	1	1	1	1	1	1	6	8	44
指導医数	1	1	1	1	1	1	-	-	20

- 許可病床数：338 床（一般 291 床、療養 43 床、感染症 4 床）
- 入院患者数（1 日平均）：196.7 人
- 外来患者数（1 日平均）：745.7 人
- 平均在院日数（一般病床）：13.1 日
- 分娩件数：72 件
- 救急医療の提供実績：当院は、久慈市を中心に約 6 万人を医療圏とした救命救急センターを併設する地域完結型総合病院です。平成 27 年度は病院外心肺停止 85 名、重症脳血管障害 36 名、急性心筋梗塞・心不全 61 名、重症呼吸不全 29 名等を含む 313 名の重症患者の受け入れを行っています。救命救急センター病棟の入院患者数は、一般外来・救急センター外来・転入患者を含み 4394 名です。

- 医療法上の位置づけ：3 次救急医療機関
- 救急取扱件数：9,838 件
- 救急車取扱件数：1,648 件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1 年次】360,000 円（月額、手当・税込）、5,700,000 円（年額、賞与・手当・税込）
【2 年次】410,000 円（月額、手当・税込）、6,900,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（24 時間対応）
【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：8 名
- 応募資格：平成 30 年に医師国家試験合格見込の者で、マッチング参加者であること
- 応募必要書類：(1) 合同面接会参加申込書（所定様式）(2) 研修医履歴書（所定様式）(3) 卒業見込証明書 (4) 成績証明書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成 29 年 7 月中旬予定
- 試験実施日：平成 29 年 8 月中旬予定

■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1 年次 6 名 うち女性 0 名
2 年次 8 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：岩手医科大学
- 当直回数：4 回（当直は医師 3 人体制で 1 年次の 7 月から開始、当直 4 回の他に日直 1 回あり）
- 研修終了後の進路：岩手医科大学、岩手県立久慈病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（外科、神経内科、総合診療科）

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立久慈病院
事務局 臨床研修担当

028-8040 岩手県久慈市旭町 10-1
TEL 0194-53-6131 FAX 0194-52-2601
E-mail kuji-hp@hotmail.co.jp

●当院の臨床研修の特色

- チューター制度を取り入れ、チューターとなった指導医は研修内容だけでなく、研修生活全般にわたり、先輩として同僚として、相談に乗る体制により、たくましい医師を育てている。
- 研修医室は独立しているが医局と隣接し、いつでも気軽に複数科の指導医と話しやすい環境にある。
- 二次救急医療の指定病院であり、急性期から回復期まで多様な症例を数多く経験できる。
- 研修後は優れた指導医が指導する地域病院や診療所で primary care を実践し、一人の医師として自分の実力を発揮できるほか、大学に戻っての後期研修など選択肢が豊富である。

■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：岩手県立二戸病院臨床研修プログラム／佐藤 昌之
 ●研修スケジュール 募集人数 5 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	自由選択 (OR)	内 科						救 急	外科	小児科	産婦人科	
2 年次	精神科	地域医療	自由選択									

●協力型病院名（科目）

岩手県立一戸病院（精神科）	岩手県立軽米病院（地域医療）
岩手県立中央病院（内科、救急、外科、小児科、産婦人科）	岩手県立胆沢病院（内科、救急、外科、小児科）
岩手県立久慈病院（内科、救急、外科、小児科）	岩手医科大学附属病院（内科、救急、外科、小児科、産婦人科）

盛岡赤十字病院ほか 7 施設

●協力施設

岩手県立二戸病院附属九戸地域診療センター	二戸市国民健康保険金田一診療所	二戸市国民健康保険浄法寺診療所
岩手県立二戸保健所	岩手県赤十字血液センター	

■教育体制

- 指導医講習会を受講済の 22 人の指導医やプログラム責任者講習会を受講済の 3 人を中心に充実した教育体制をとっている。
- BLS、ACLS のプロバイダー取得と TNT 講習会受講は必須であり、取得後は職員の教育に関わっている。
- 岩手県立病院医学会での発表は必須、また、地方会や学会での発表を積極的に行っている。
- 院内の検討会・セミナー・カンファレンスは、①医局症例検討会（毎週火曜日朝 8 時）医師全員：症例報告・最近の話題 ②イブニングカンファレンス（毎週水曜日夜 6 時）消化器内科・外科・放射線科・医師会：消化器疾患症例検討 ③カシオペア医療セミナー（毎月最終火曜日夜 6 時）：各科持ち回りセミナー ④CPC などあり、研修医が参加、発表する。

■メッセージ

●指導医から一言

初期臨床研修を考えている皆さん、岩手県立二戸病院は青森県との県境の内陸部に位置しています。コンパクトな病院ですが、症例には恵まれております。研修医定員数は 5 名と決して多くありません。これは各科に研修医 1 名の配置を基本体制とし、指導医、上級医とじっくり向き合って研修していただくと考えためです。

各科の指導医も実技を中心に熱い思いで指導に当たっております。また各診療科の連携もよく、他科への相談や依頼も円滑です。これまでの初期臨床研修修了者は 20 名で、全員 2 年間で無事修了しております。

当院は、盛岡駅より二戸駅まで新幹線で 22 分、二戸駅から車で 8 分ほどのところにあり交通の便にも恵まれております。例えば、岩手医科大学の社会人大学院に入学してもスムーズに移動が可能で時間のロスがありません。

是非見学に来てください。お待ちしております。

●先輩研修医から一言

岩手県での研修を考えている皆さん、こんにちは。

二戸病院は岩手の県北に位置している病院です。研修医の募集定員は 5 名と規模は大きくありませんが、それが長所の 1 つと実感しています。各科を回るときは基本的に研修医は 1 人なので、多くの症例を診て多く手技を経験できます。先生方のご指導も 1 対 1 で受けることができ、研修を受けるには良い環境だと思います。立地も良く、盛岡まで新幹線で約 20 分！（ここ重要です）

実際に来て雰囲気を感じてもらわないことには始まらないので、是非一度見学に来てみてください。研修医一同、心よりお待ちしております。

■病院理念

- 岩手県立二戸病院の基本理念
信頼と満足が得られる患者中心の医療の提供
診療機能の充実を図り、地域医療、福祉、保健機関との連携
療養環境の充実した快適な病院づくり
これらの基本理念を常に心がけ、地域に深く根ざし、安心と信頼の高い医療機能と豊かな人間性を兼ね備えた、ぬくもりのある医療の実現を目指します。

■診療内容

- 診療の特徴、実績
当院は二戸圏域（二戸市、一戸町、軽米町、九戸村）と青森県の田子町、三戸町の一部を診療圏とする地域完結型を目標とした中核病院であり、この圏域の救急医療の大半を一手に引き受け、在宅緩和ケアや医師会との地域医療福祉連携などを積極的に展開しています。
2006 年には、地域がん診療連携拠点病院に、2011 年には、地域周産期母子医療センターに認定されています。2015 年度の実績では、手術件数は 3,124 件、うち全麻手術が 513 件、救急患者数 8,821 人（1 日平均 24.1 人）、救急車取扱 1,836 件です。

●診療科・医師数

診療科名	内	消	循	神内	小	外	整	脳外	泌	産	眼	放	麻	合計
医師数	1	3	3	2	3	4	2	3	2	4	2	2	1	32
指導医数	0	1	3	2	1	4	1	3	1	3	0	2	1	22

- 許可病床数：263 床（一般 253 床、結核 10 床）
- 入院患者数（1 日平均）：179.5 人
- 外来患者数（1 日平均）：605.9 人
- 平均在院日数（一般病床）：12.5 日
- 分娩件数：500 件
- 救急医療の提供実績：二戸地域二次医療圏域及び青森県南部圏域の救急医療の大半を引き受けている。
医師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、事務が各 1 名の宿直、看護師 2 名の勤務体制で対応し、必要（症状）に応じて専門の医師をオンコールしている。

- 医療法上の位置づけ：2 次救急医療機関
- 救急取扱件数：8,821 件
- 救急車取扱件数：1,836 件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1 年次】485,000 円（月額、手当・税込）、5,820,000 円（年額、賞与・手当・税込）
【2 年次】535,000 円（月額、手当・税込）、6,420,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（24 時間保育、病後児保育可能）
【その他】育児短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：5 名
- 応募資格：平成 29 年度医師国家試験合格見込みの者で、マッチング参加者であること。
- 応募必要書類：(1) 合同面接会参加申込書（所定様式）(2) 研修医履歴書（所定様式）(3) 卒業見込み証明書 (4) 成績証明書
- 試験内容：面接のみ
- 申込締切日：平成 29 年 7 月中旬予定（マッチングに合わせる）
- 試験実施日：平成 29 年 8 月（予定）定員に満たない場合はその後随時対応

■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1 年次 2 名 うち女性 0 名
2 年次 3 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：岩手医科大学、藤田保健衛生大学
- 当直回数：4 回（当直は 2 年次から開始、1 年次は 7 ヶ月目から副当直）
- 研修修了後の進路：岩手医科大学、岩手県立二戸病院
- 後期研修プログラムの有無：無し

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立二戸病院
 総務課 臨床研修担当

028-6193 岩手県二戸市堀野字大川原毛 38-2
 TEL 0195-23-2191 FAX 0195-23-2834
 E-mail EA1014 @ pref.iwate.jp

●当院の臨床研修の特色

プライマリ・ケアの基本的な臨床能力（態度・知識・技能）、及び専門科の基礎の習得に重点を置いた内容となっています。

また2次救急指定病院でもあることから、急性期から回復期まで多様な症例が経験できるほか、当院を含む県内12の臨床研修病院が相互に協力病院となり、自院以外の研修病院でも希望診療科の研修を受けられる体制が構築されています。

更には毎年、済生会総会・学会に合わせて開催される1年目初期研修医全員を対象とした「初期研修医のための合同セミナー」に参加するなど、済生会の規模を実感するとともに歴史、理念を学習することができます。

●プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：北上済生会病院卒後臨床研修基本プログラム／佐藤 嘉洋
- 研修スケジュール 募集人数2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急		麻酔科	選択必修		精神科
2年次	地域医療	自由選択										

- プログラム名／プログラム責任者：北上済生会病院卒後臨床研修小児科・産婦人科・周産期プログラム／佐藤 嘉洋
- 研修スケジュール 募集人数2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科（救急）								救急	外科（救急）		精神科
2年次	地域医療	麻酔科	特別選択（小児科・産婦人科）						自由選択			

●協力型病院名（科目）

岩手医科大学附属病院（内科・救急・麻酔科・精神科・外科・小児科・産婦人科・自由選択科目）	岩手医科大学附属花巻温泉病院（内科）
独立行政法人国立病院機構花巻病院（精神科）	岩手県立中央病院（麻酔科・自由選択科目）
岩手県立胆沢病院（麻酔科・自由選択科目）	岩手県立中部病院（内科・外科・小児科・産婦人科・自由選択科目）

他7施設

●協力施設

済生会岩泉病院	特別養護老人ホーム 百楽苑	岩手県赤十字血液センター
---------	---------------	--------------

●教育体制

各診療科では、マンツーマンの指導体制を取っています。
またインターネットの利用環境については、医局・研修医室にて利用可能となっています。

- ・全国済生会初期研修医合同セミナー（年1回）
- ・院内新入職員オリエンテーション
- ・岩手県臨床研修医合同オリエンテーション
- ・地元医師会集談会
- ・院内医局集談会
- ・各診療科カンファレンス
- ・BLS・ACLS講習会
- ・CPC

●メッセージ

●指導医から一言

当院では個々の目標に沿った研修医育成のため、それぞれに適した柔軟な対応が可能となっております。また多施設での研修が可能であり、人脈形成や専門分野の検討などに適した施設であると考えておりますので、お気軽にご相談ください。

●指導医から一言

定員を4名としている当院の初期研修では、実践重視の研修を積むことができます。指導医一同、厳しくも温かみのある指導を心掛けており、チーム医療の中で研修医が成長・活躍できる環境づくりに努めています。医師としての基盤を形成する重要な2年間を当院でスタートさせてみませんか。心より歓迎します。

●病院理念

【基本理念】

寛容の精神で、患者さんのために親切な医療を行います。

【基本方針】

1. 良質な医療を提供します。
2. 救急医療等を含む地域のニーズに応え、信頼される地域中核病院を目指します。
3. 病診・病病連携体制の強化に努めます。
4. 「施業・救療・済生」の精神を心に、保健・医療・福祉の向上に貢献します。
5. 効果的な運営による経済基盤の確立に努力します。

●診療内容

●診療の特徴、実績

済生会設立理念を踏まえ生活困窮者への減免診療を行うとともに、急性期医療にも積極的に取り組み、周産期医療では岩手中部地区医療圏における地域周産期母子医療センターとして中心的な役割を担っています。
また訪問診療にも力を注ぎ、地域に信頼され愛される病院として誠実で安全な医療の提供を目指しています。

●診療科・医師数

診療科名	内科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	脳外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	皮膚科	合計
医師数	1	2	1	1	3	3	2	4	2	1	3	1	1	25
指導医数		2	1		3	2	1	2	1		2			14

- 許可病床数：303床（一般299床、感染症4床）
- 入院患者数（1日平均）：195人
- 外来患者数（1日平均）：350.1人
- 平均在院日数（一般病床）：16.1日
- 分娩件数：409件
- 救急医療の提供実績：2次救急輪番病院として救急患者を受け入れています。輪番制による救急医療に対応するとともに、24時間救急診療も行っています。救急室のベッド数は3床で24時間受け入れ可能となっており、夜間・休診日は全科の医師がオンコール体制で診療を行っています。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：4,314件
- 救急車取扱件数：807件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(RES)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

●処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】500,000円（月額、手当・税込）、6,000,000円（年額、賞与・手当・税込）
【2年次】605,000円（月額、手当・税込）、7,300,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険・厚生年金保険・労働災害補償保険・雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（8:00～18:00）
【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

●研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：4名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業（見込）証明書 (3)臨床研修申込書 (4)成績証明書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年7月末予定
- 試験実施日：平成29年8月 岩手県臨床研修病院合同面接会予定 定員に満たない場合は随時対応

●現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 0名 うち女性 0名
2年次 0名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：-
- 当直回数：5回（当直は2年次より（1年次副直有り））
- 研修終了後の進路：-
- 後期研修プログラムの有無：有り（小児科・呼吸器科・循環器科）

●申し込み、問い合わせ先

社会福祉法人恩賜財団済生会 北上済生会病院
総務課

024-8506 岩手県北上市花園町一丁目6番8号
TEL 0197-64-7722 FAX 0197-64-2666
E-mail info@saiseikai-hp.or.jp

●当院の臨床研修の特色

当院の臨床研修では2年目の修了時には、全科当直で独り立ちできる医師となっていることを保証します。そのため1.医療の基本的知識・技能はもちろんのこと、2.コミュニケーション能力、3.気配り・思いやり・情熱、4.問題解決能力、5.自己管理能力、6.リーダーシップそして7.後輩を育てることをバランス良くトレーニングします。

一緒に良い医療を目指して日々やっぴいこう！

■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：岩手県立中部病院初期臨床研修プログラム／小山田 尚
- 研修スケジュール 募集人数12名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	初エリション	内科系					救急医療科			外科			麻酔科
2年次	救急医療科	小児科	産婦人科	精神・緩和	救急医療科	地域医療	地域保健(0.25ヶ月)	自由選択(5.75ヶ月)					

●協力型病院名（科目）

岩手医科大学附属病院（内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科）	岩手県立中央病院（内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科）
盛岡赤十字病院（内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科）	岩手県立胆沢病院（内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科）
岩手県立東和病院（地域医療）	独立行政法人 国立病院機構 花巻病院（精神科）

他10施設

●協力施設

岩手県中部保健所	岩手県赤十字血液センター	総合花巻病院附属訪問看護ステーション
西和賀町立西和賀さわうち病院	岩手県立大槌病院仮設診療所	

■教育体制

○1年次オリエンテーション	2週間	○CPC	年4回
○研修医モーニングカンファランス（研修医主催）	毎週開催	○地域医療研修会	年2回 などへの参加
○木曜モーニングセミナー	毎週開催	○各種学会発表（消化器病学会など）	随時参加
○院内BLS講習会講師	月2回開催	○2年次研修医スキルアップセミナー(旧OSCE)への参加	年1回
○M&M検討会	隔月	○医局抄読会	毎月

■メッセージ

●指導医から一言

2年間の研修修了時に、どんな風になっていたいですか？初期研修医の2年間の目標は厚労省が示すものがありますが、もちろんそれを基本とし、我々指導医たちの熱い想いをすりあわせ、実りある研修を約束します。指導医が教え込むのではなく、研修医諸君、自らができるようになっていくのです。当院はアレしろ、コレだめと指示するのではなく、自彊の精神での研修を目指します。

●先輩研修医から一言

岩手県の中部医療圏を広くカバーしている当院は症例数も豊富で、間違いなく有意義な2年間を過ごすことができます。救急でのfirst callは全例研修医に任されるため、臨床能力、責任感、また適切な判断力を自然と身につけることができます。しかしながら、当然最初から最後まで全例研修医1人で対応しなければいけないというわけではなく、屋根瓦式指導が確立されているため相談しやすい上級医の先生方がバックアップにいらっしゃるの、丁寧な指導の下で診療にあたることができます。また、院内の勉強会も非常に多く、研修医が主体となって開催されるモーニングカンファではお互いに経験した症例や知識を共有したり、また、モーニングセミナーでは、各診療科の先生方が中心となって主に研修医、その他メディカルスタッフ向けに勉強会を開催して下さっています。そのほか、当院は非常に多くの診療科を有しているため研修医として各科をローテートしていくうちに各科の先生方から様々な専門的知識を得ることができるのも特徴です。最後に、当院では研修医室も充実しており、12人いる同期や先輩研修医の先生方とは和気あいあいと、ときに切磋琢磨しあいなながらも仲良く研修ができることも大きなメリットです。是非、充実した研修を送っている私たちの姿を見に来て下さい！

■病院理念

私たちは、生命の尊厳と人間愛の精神に則って、地域の人々の生命と健康を守り、地域医療の充実・発展に貢献します。

■診療内容

●診療の特徴、実績

当院は、岩手中部医療圏人口約24万人の中核病院として、地域連携とチーム医療の推進を掲げて平成21年春にスタートを切りました。地域がん診療連携拠点病院としてPETを含めた放射線診断機器、IMRT、I131、Sr89を含めた放射線治療、外来化学療法室(13床)、平屋棟の緩和ケア病棟(24床)を有し、全人的な、包括的ながん治療を行います。また、圏域の救急医療を担う基幹病院として、総合診療科を新たに設置しました。屋根瓦式指導体制のもと、研修医は参加型のon-the job trainingとして日々プライマリケアの習得に邁進しています。

●診療科・医師数

診療科名	総合診療科	神経内科	血液内科	消化器内科	呼吸器内科	循環器内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科
医師数	3	2	2	7	2	6	5	17	3	4
指導医数	2	1	1	5	2	3	2	8	2	3

診療科名	形成外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	放射線科	緩和ケア科	麻酔科	合計
医師数	1	1	1	3	4	3	3	3	2	72
指導医数	1	1	0	2	2	2	3	3	2	45

- 許可病床数：434床（一般 414床、結核 20床）
- 入院患者数（1日平均）：315.1人
- 外来患者数（1日平均）：569.2人
- 平均在院日数（一般病床）：10.4日
- 分娩件数：627件
- 救急医療の提供実績：ヘリポートもある当院には、担当医療圏の救急患者のほとんどが搬送され、2.5次救急（3次ではないが、2次より重症な患者まで）対応しています。H24年9月から岩手県のドクターヘリが運用開始され、重症外傷例が増加しています。救急患者のファーストタッチは、原則的に研修医が行います。平日の日勤帯は、救急医療科（専任の責任者有り・ベッド有り）をローテーション中の研修医が後期研修医とともに屋根瓦研修のスタイル下に、夜間及び休日は内科系医師1名・外科系医師1名及び研修医2年次と1年次の日当直4名体制の中で、1・2年次研修医が担当しています。救急車での搬送件数は一日平均11件。研修医は当直明けの午後は原則的に帰宅をルールとしています。一睡もできなかった当直の場合、睡眠不足のままの研修ほど危険で非効率なものはないからです。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：14,291件
- 救急車取扱件数：4,022件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】550,000円（月額、手当・税込）、6,600,000円（年額、賞与・手当・税込）
【2年次】630,000円（月額、手当・税込）、7,560,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（24時間保育、病後児保育、土・日・祝日も開所）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：12名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)成績証明書 (3)卒業見込証明書 (4)指定応募用紙（取り寄せ必要）
- 試験内容：面接試験
- 申込締切日：平成29年7月下旬（予定）
- 試験実施日：平成29年8月中旬（予定）

■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 12名 うち女性 3名
2年次 11名 うち女性 2名
- 研修医の主な出身大学：岩手医科大学、秋田大学、山形大学、東北大学、東海大学、聖マリアンナ医科大学、自治医科大学 他
- 当直回数：4回
- 研修修了後の進路：岩手県立中部病院、岩手医科大学（附属病院）、岩手県立釜石病院、東京慈恵会医科大学附属病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（総合診療科、神経内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、放射線科、緩和ケア科、麻酔科）

■申し込み、問い合わせ先

岩手県立中部病院
事務局 総務課 臨床研修事務担当

024-8507 岩手県北上市村崎野17地割10番地
TEL 0197-71-1511 FAX 0197-71-1414
E-mail EA1013@pref.iwate.jp